



平成 29 年 1 月 23 日

各 位

上場会社名 株式会社 東京ソワール  
代表者 代表取締役社長 村越 眞二  
(コード番号 8040 )  
問合せ先責任者 執行役員経営企画本部長 大島 和俊  
(TEL 03-5474-6557 )

## 繰延税金資産の取崩し及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 12 月期決算において、繰延税金資産の取り崩しを行うことといたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 28 年 2 月 12 日に公表しました平成 28 年 12 月期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）の業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 繰延税金資産の取崩しについて

当社は、業績推移及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、平成 28 年 12 月期において繰延税金資産を全額取り崩すこととし、法人税等調整額に 4 億 92 百万円(損)を計上する見込みです。

#### 2. 業績予想の修正について

平成 28 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	17,300	50	150	30	1.63
今 回 修 正 予 想 ( B )	17,603	267	374	△293	△15.99
増 減 額 ( B - A )	303	217	224	△323	
増 減 率 ( % )	1.8	435.2	149.7	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期)	17,107	△470	△341	△286	△15.60

#### 修正の理由

売上高は、主な取引先である百貨店販路及び量販店販路では計画を下回ったものの、TV通販などその他販路の売上高が増加した事により、予想を上回る見込みとなりました。

利益面では、生産時期の変更や海外生産国の見直しなどによる粗利益率の向上により、売上総利益は計画を上回りました。販管費及び一般管理費においても、低効率店舗の人員見直しあるいは撤退による人件費の減少に加え、販売促進費の抑制など、費用対効果を見極めた経費管理に努めたことから計画を下回り、営業利益、経常利益ともに予想を上回る見通しとなりました。当期純利益につきましては、特別損失として固定資産解体費用34百万円(世田谷賃貸用倉庫A館)、減損損失54百万円(直営店の建物、工具、器具及び備品等)及び店舗閉鎖損失9百万円(直営店の解約金)の計上に加え、前述のとおり繰延税金資産を全額取り崩し、法人税等調整額4億92百万円を計上したことにより、予想を大きく下回る見込みとなりました。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上